



ネプチューンは国連本部のSDGsのマークの申請と日本財団の海と日本プロジェクトの認定を受けておりますが、その理由とは何なのでしょう。

昨今よく聞く、サステナブルとかSDGsという言葉がありますが、それとエシカル消費という言葉とネプチューンとの関連性についてまとめて説明していきたいと思っております。

“サステナブル”とは維持可能であることという意味であり、SDGsは国連で決定された2030年までに達成すべき持続可能な開発のための17の国際目標です。SDGsのSはサステナブルを示します。SDGsはサステナブルな社会の実現を目指す目標という意味なのです。

ここでもう一つの言葉、“エシカル消費”とは何かについてですが、SDGsの12番目に示される「つくる責任つかう責任」にあるような、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。

日本にも古来より“エシカル”の精神は生きており、それは「おもてなし」、「おかげさま」、「もったいない」の言葉に表されています。

ネプチューンは現代社会で課題とされている、「社会へのインフラ供給」・「経済活動における未来発展」・「イノベーションの推進」・「地球環境における温暖化防止・消費エネルギー削減」・「地域社会における防災への対策」等々への貢献をしていく商品であります。

SDGsの基本とされる、3R「Reduce廃棄物を減らすこと」・「Reuseそのままの構造物でもう一度使うこと」、「Recycle資源再生」という活動に対して、ネプチューンは5Rにできると考えています。

「Respect 構造物に敬意を表すこと」、「Repair 修繕」の2個を追加し、5Rという新たな価値を示すことができると考えています。